ロータリーの友委員会資料

第 ２７９０ 地区 椎名博信

問１．『ロータリーの友』1月号を読んだ感想をお書きください。

　今月は日本のロータリークラブで「理解しにくい、難しい」と言われている「職業奉仕月間」です。我がクラブも職業奉仕委員長が「職場訪問」を企画して企業理念や現場見学、働いている社員やパートの皆様の活き活きとした様子を通じて、参加会員企業の業績向上に役立てる機会にしています。今期は年末に郵送して頂いた1月号の記事をコピーして委員長に手渡し今月に企画されている委員長卓話で活用してもらう計画を立て、例年と違った委員会活動が出来る事を期待しています。目次の事前配信や友誌の事前郵送、大いに活用させて頂きました。

　バリー会長メッセージにも書かれていますが「つまり仕事を通じてロータリーの理念を実践するのがロータリーなのです」　シンプルで解り易いですね。理念に叶った仕事をすれば工夫や苦労が報われて、業績が向上し社員のご家族やステークホルダー（利害関係者）に喜んでもらえる、こんな良い事が学べるロータリーは素晴らしいと思います。

　さて職業奉仕の特集ですが様々な記事が出ていて読み応えがありました。文字ばかりの記事に拒否反応を示すロータリアンが少ない事を願っていますが、解り易く、勉強に成りました。社会奉仕と職業奉仕の区別も解り易く、職業奉仕が御座なりになる事も減るのではないでしょうか？　また「自分の職業は世のため人のためにどういう意味があるのか？」改めて考えてみたいと思います。私事ですが来期は職業奉仕委員長の指名を頂きましたので1月号の特集を良く理解して次年度に取組みたいと思います。

　１月号のＳＰＥＥＣＨ「日本でいちばん大切にしたい会社」、良い講演録ですね。昨年度の地区大会基調講演ですが、職業奉仕月間まで待って掲載した編集力を評価します。「企業の使命は関係する全ての人々の永遠の幸せの追求・実現」当たり前の事だと思いますが、現在の日本や世界では片隅に追いやられている感のある言葉です。如何にもロータリーらしい講演録の掲載、ありがとうございます。

　クラブを訪ねて「小倉東ロータリークラブ」良い記事でしたね。創立６０周年を迎える老舗クラブの風格と活発な活動が、街の魅力と共に紹介されています。良いクラブは地場に根差した会員の皆様と、若いインターアクト、ローターアクト会員が挑戦を繰り返して形作られている事が分かります。

　また「友愛の広場」と「ロータリーアットワーク」も読み応えがあります。充実した友誌1月号はガバナーからガバナー補佐会議やＰＥＴＳで紹介して頂き、地区内ロータリークラブの来期活動計画策定に役立てて頂きたいと思いました。

最後に地区大会略報Ⅱ、限られた文字数の中で紹介される充実した全国の様子が分かります。３４地区の略報と、そこで行われた講演録が友誌のスピーチ欄で読める事を楽しみにしています。

問２．友地区代表委員として、今年度下半期の活動予定があれば、お書きください。

　「クラブを訪ねて」に「船橋西ＲＣ」を推薦して４月号に掲載が決まった事。ＳＰＥＥＣＨに掲載する村田先生の原稿を推薦した事（作業中）。次期の地区ガバナーに友代表委員の役割を説明し活動の場を増やす提案をする事（計画中）などを進めています。

問３．その他

　２７９０地区ではハンブルグ国際大会に６５名以上の登録が済んだ様です。来年のホノルル大会（６月６～１０日）、再来年の台北大会（６月１２～１６日）は、比較的近くの開催に成るので更なる参加者増が期待できそうです。